

# 令和7年度第1回徳島県認知症施策推進会議 議事概要

## 1 開催日時等

日時：令和7年9月2日（火）

場所：徳島グランヴィリオホテル（オンライン併用）

委員：出席25名（代理含む）、欠席2名

## 2 議題

- (1) 令和6年度徳島県認知症総合支援事業の取組実績について
- (2) 令和7年度徳島県認知症総合支援事業について
- (3) 徳島県認知症施策推進計画（素案）について
- (4) 意見交換

## 3 議事概要

徳島県認知症施策推進計画（素案）について

### ○「新しい認知症観」の理解促進について

- ・認知症サポーター養成数の増加も重要だが、認知症サポーター養成テキストに「新しい認知症観」の記載も出てきており、指導するキャラバンメイトも「新しい認知症観」について理解しないといけない。質の確保も重要と考える。
- ・「希望大使」という名称や氏名等の公表にためらいを感じる認知症の人もいるため、「希望大使」に加えて新たな当事者発信の取組を検討してはどうか。

### ○認知症の予防と健康づくり

- ・市町村や保健所が実施している健康づくりに係る普及啓発と連携し、啓発活動を実施することが必要ではないか。
- ・軽度認知障害（MCI）の周知も進み、MCI患者の受診も増加傾向にある。  
現在の素案には、MCIに関する記載はないが、早期発見・早期対応の点からもMCIの記載や普及啓発が必要ではないか。
- ・早期発見・早期対応について、相談できる場所も重要だが、相談を受ける側のスキルアップも重要と考える。

### ○認知症の人の意思が尊重され、家族等を含め安心して暮らせる地域づくり

- ・認知症当事者にとって、認知症カフェ等の居場所は、仲間とつながることができる大切な場所である。
- ・見守りや独居の認知症の人への支援として、ICT等を活用した見守りについて記載してはどうか。
- ・虐待防止について、家庭の中での早期発見・早期対応はもちろん、養護者の虐待防止のため、レスパイトケアが必要ではないか。
- ・企業に対する若年性認知症の普及啓発が必要ではないか。
- ・災害時の避難所での支援等についても記載が必要ではないか。